

自己啓発本

中西祐介

むくわれないと嘆く前に
むくわれないと信じて
その通りになって安堵した

そうした生き方を1300円＋税で
購入した自己啓発本でやめて　とても楽になったが
薬ではなく　麻薬だった

私の背丈よりも
自己啓発本が積まれた後で
「自己啓発本に頼らないで済む本」
を購入するしまつだった

生き方を楽にする本で
部屋がいっぱいになり
身動きがとれなくなりつつあったが
私はめげずに本の購入を続けた

全く読んでいないことに気付いたのは
床が抜けた後で
抜けた床も自己啓発本が埋めてくれて
生活は若干しやすくなった

本を素足で踏みつける罪悪感
足ツボを刺激される心地よさで打ち消され
雨の降った日は　雨水を吸い込み
自己啓発本から良質なフロントがにじみ出て
言葉少ない　杜氏でさえ
「大成功！」と　叫びそうな
日本酒の香りを奏でた

天アンカットの上で目覚めた　二日酔いの朝は
ひどい頭痛でも
不慣れた造語の誤用に気付いた

全裸なみの恥ずかしさで　局部のみは隠そうと
たまたま手にしたのは　外してあった本のカバーで
よりによってトレーシングペーパー　だったりする